

小学生のお友だちは、お金が大切だということを知っているかと思います。良い学校に行き、いっぱいお金を稼げるようになりたいと思っている人もいるかと思います。

イエスさまの所に一人の人がやってきます。親が亡くなり、遺った財産を兄弟から分けてもらいたいという相談です。このときにイエスさまはお語りになります。

「食欲に注意を払い、用心しなさい」 食欲とは、がめつい、欲深いという意味です。

そしてイエスさまはたとえ話を話し始めます。16～20 「ある金持ちの畑が豊作だった。金持ちは、『どうしよう。作物をしまっておく場所がない』と思い巡らしたが、やがて言った。『こうしよう。倉を壊して、もっと大きいのを建て、そこに穀物や財産をみなしまい、こう自分に言ってやるのだ。「さあ、これから先何年も生きて行くだけの蓄えができたぞ。ひと休みして、食べたり飲んだりして楽しめ」と。』しかし神は、『愚かな者よ、今夜、お前の命は取り上げられる。お前が用意した物は、いったいだれのものになるのか』と言われた」。

このお金持ちが間違ったのは、これから楽をするために、さらに大きな倉を建てようとしたことです。お金を稼ぐ・農作物を収穫するというのは、自分の力で行っているのだと思っているかと思います。たしかに努力が実ります。

しかし、大切なことは、神さまの許しがなければ、お金を稼ぐことも、多くの農作物を収穫することもできません。いっぱい収穫物を手に入れる、多くのお金を手にするのも、神さまが恵みによってお与えくださったものです。そればかりではありません。私たちの生命も、神さまが毎日お与えくださっています。今日は、みんなが元気に来ることができましたが、体調不良のときもありますよね。元気な体、病気が回復するのも、神さまがお与えくださった恵みです。

だからこそ、与えられた収穫物は感謝して用いれば良いのであり、必要ならば、持っていない人を助けるために用いることが求められています。自分のものが減ったと悲しむ必要はありません。私たちのすべてを知っておられる神さまは、私たちが必要だと思っていれば、明日も神さまが備えてくださいます。

そして、イエスさまは、自分が楽をするために新しい倉を作ろうとした人に対して、「自分のために富を積んでも、神の前に豊かにならない者はこのとおりだ」とお語りになりました。

神さまはいつもみんなと一緒にいてくださいます。そして必要なものを満たしてください。だからこそ、与えられたものに感謝して用いれば良いのです。多くのものがあれば、困っている人に分ければ良いのです。明日は、また、神さまが恵みで満たしてください。いつも神さまと一緒にいてくださり、与えられた恵みに感謝することが大切です。

お祈りします。神さま、神さまがいつも一緒にいてください、私たちに必要なものをお与えくださり、ありがとうございます。そしてがめつくなることなく、毎日、神さまの恵みに感謝することができるようにしてください。

このお祈り、イエスさまのお名前によりお祈りします。アーメン